

会 議 録

会議の名称	平成28年度 第1回行田市行政改革推進委員会
開催日時	平成28年8月1日（月） 開会：午後1時30分 閉会：午後3時
開催場所	市役所305会議室
出席者氏名	阿久津彰男委員、大久保毅委員、大野久美子委員、大平敏江委員、 長島益世委員、羽賀烈委員、政田光生委員、松本安夫委員、 宮田淑尚委員
欠席者氏名	なし
事務局	島田総合政策部長 改革推進室：浅見室長、近藤主幹、大木主査
会議内容	司会 近藤主幹 議事 (1) 行田市行財政改革プログラム平成27年度取組実績について (2) その他
会議資料	○行田市行政改革推進委員会委員名簿【資料1】 ○行田市行政改革推進委員会設置条例【資料2】 ○行田市行財政改革プログラム平成27年度取組実績【資料3】 ○行田市使用料・手数料見直し基本方針【資料4】 ○本市の人口減少対策について【資料5】
その他必要事項	傍聴者 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 副市長あいさつ</p> <p>4 委員紹介</p> <p>（委員名を讀上げ自己紹介。副市長退席後、職員を紹介。）</p> <p>5 会長の選出及び会長職務代理者の指名</p>
司 会	<p>・続いて本委員会の会長の選出であるが、その前に本委員会の運営について簡単に説明させていただく。</p> <p>（資料2により説明）</p>
司 会	<p>・それでは会長の選出を行う。会長は委員の互選によることとなっている。本委員会の会長について、どなたか意見があるか。</p>
大久保委員 司 会	<p>・前任期においても会長を務められた阿久津委員にお願いしたい。</p> <p>・ただいま、阿久津委員を会長に推薦する意見が出されたが、皆さんいかがか。</p> <p>（全会一致で了承）</p>
司 会	<p>・阿久津委員いかがか。</p>
阿久津委員	<p>・了承する。</p>
司 会	<p>・それでは、阿久津委員に会長をお願いしたい。また会長には、職務代理者の指名をお願いしたい。</p>
阿久津会長	<p>・大久保委員を職務代理者として指名したい。</p>
司 会	<p>・大久保委員いかがか。</p>
大久保委員	<p>・了承する。</p>
司 会	<p>・それでは、大久保委員に会長職務代理者をお願いする。</p> <p>・阿久津会長には、一言あいさつをお願いしたい。</p>
阿久津会長	<p>・この度は、本委員会の会長職を前回から引き続き拝命することになり、責任の重さを痛感している。</p> <p>・市では、平成26年度に「行財政改革指針」及び「行財政改革プログラム」を策定し、平成32年までの7年間を計画期間とする行財政改革に鋭意取り組んでいるところであるので、今後も気を引き締め、市民の声や本委員会の意見を反映して、改革を着実に推進していただきたい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は昨年度の実績報告をしていただくことになっているので、委員の皆様には、忌憚のない意見・提言をいただくようお願いし、あいさつとする。
司 会	<p>6 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早速、議事に入らせていただく。ここからは、委員会設置条例第5条の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いする。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆さんのご協力をお願いする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに、会議の公開・非公開の取扱いについて、本日の委員会では、議事の中で個人情報を取り扱うことがないことから、会議を公開とさせていただく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・また会議録については、委員名を明記の上要点筆記とし、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて後日公開する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・議事の(1)「行田市行財政改革プログラム平成27年度取組実績」について、事務局の説明を求める。
事 務 局	<p>(資料3により説明)</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明があったが、内容について意見や質問があれば発言いただきたい。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各取組の進捗状況を見ると、実施済みの項目が約3割ある一方で、取組が遅れているものも約2割ある。今後遅れている取組に対し素早く対応していくことが重要であると考えますが、市の見解はどうか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを策定し、取組を開始してから2年が経過したところで、前年度より取組完了した項目が増えてきた一方、遅れが生じているものもある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・遅れている取組については、今後の取組方法やスケジュールなどを関係課と協議しながら、計画どおり実行できるよう、進行管理を行っていく。
宮田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・11ページの「少人数学級編制の見直し」について、少人数学級を取り入れたことにより、子供たち一人ひとりに行き届いた教育を実施することが出来たと報告されているが、制度を導入したことを取組の成果とするのではなく、制度を導入したことによる成果、例えば学力向上が図られたなどの具体的な成果を示してほしい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級編制については、昨年度4月から小中学校全学年を35人以下として、制度を開始したところである。制度導入に伴う具体的な成果については、今後、教育委員会と協議してまいりたい。
宮田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育という抽象的なものに対する成果を具体的に発表することは難しい面もあるが、出来るだけ公表していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、昨年12月に策定した「行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のなかで、国や県の学力学習状況調査の結果を、国や県の平均点以上にすることを目標に掲げている。 ・また、今年度新規事業として、小学校中学年の算数の授業において、ベテランの非常勤講師を配置する「パワーアップサポーター制度」を導入し、学力向上に向けて取り組んでいるところである。
大平委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒児童の学力の向上を目指すことも大事であるが、人間力を育てることも重要であると私は考えている。その意味でも少人数学級編制を全学年に採用していくことで、教師の目が行き届いた所で子供たちをのびのびと育てる環境が出来たことは、大変良いことだと評価している。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の未来を担う子供たちへの教育の向上のため、今後とも議論を重ねていきたい。 ・プログラムの取組の中に「受益者負担の適正化」が挙げられているが、本市では公民館などの公の施設において、使用料が減免され、実質無料で使用している団体が多数ある。しかし施設には維持管理費がかかっていることから、使用する方への負担を求めることが大切である。行財政改革の取組の中では是非受益者負担の見直しを行ってほしい。
政田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この2年間プログラムに基づき行財政改革に取り組み、歳出の削減を行っていることに対して敬意を申し上げる。 ・先ほど議長が受益者負担の見直しについて言われたが、同様にごみ処理経費についても、住民への負担を求めていくべきと考えている。市民生活を送る中で、ごみは必ず発生するものであるなので、その費用の一部については、住民が公平に負担していくことが大切であるとする。見直しには期間が必要かもしれないが、是非取り組んでほしい。

<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・また、今後本市と鴻巣市、北本市の3市でごみ処理を共同して行う予定であると聞いているので、その協議の中で、受益者負担についても議論を行ってほしい。 ・本市のごみ処理の料金については、事業者に対しては有料で行っているが、個人の方に対しては無料で行っているところである。 ・委員ご指摘のとおり、本市と鴻巣市、北本市の3市においてごみ処理広域化を進めており、現在一般廃棄物処理基本計画策定のための協議を進めている。その中において今後検討されることになるものと考えている。
<p>大久保委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少対策について、本市の7月1日現在の人口は、6月と比較し男性が33名、女性が53名、合計で86名減少しているようである。このような状況を見ると、行財政改革の取組の中で徴税強化、税収確保などを図るといっても、根本的に人口が減少してしまえば、歳入確保も図れなくなってしまう。 ・現在東京や県南から本市へ通勤している方が多く見られる傾向であるので、その方達に行田に定住してもらえるような、魅力的な施策を展開していくべきである。先ほど話に出た教育問題についても、進修館高校などと協働して学校の魅力を高めていくなど、本市の教育水準を向上させる施策を展開してほしい。
<p>松本委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページの「公共工事コストの削減等」について、本市で策定した公共施設等総合管理計画によると、本市の道路や橋梁などの更新費は今後40年間で約1,540億円、年平均で約39億円の整備費が必要といわれている。しかし本市の普通建設事業費は25億円程度である。本取組は整備予算が少ない中で、道路工事を安価な手法や資材の変更により歳出削減の取組を行うとの趣旨であると思うが、財政効果額を見ると手法の見直しが180万円、資材の見直しが660万円であり、想定している額と桁が違う状況である。さらにコストの削減に努力が必要と思われるので、各課にその旨を伝えてほしい。 ・また「ふるさと納税制度の活用」について、本市においても返礼品制度を開始したとの報告があったが、他市においてはそれ以上の寄附金を集めているようである。全国でふるさと納税の寄附額が一番

	<p>多い市町村は宮崎県都城市で約４２億円である。本市は２５３万円である。さらなる取組の強化を図ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級編制について、先ほど宮田委員からもご指摘があったが、市費を投じて事業を行うからには、成果を出していかなければならないと考える。ただ編制を終了したという報告だけではなく、学力向上をはじめとする各学校の魅力を高める施策を行っていただき、行田に定住し、良い教育を受けさせたいと思えるような教育施策を展開してほしい。
<p>事務局 議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見をいただき感謝する。関係各課に伝えさせていただく。 ・ふるさと納税の返礼品はどのようなものがあるか。
<p>事務局 議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では昨年７月から寄附をいただいた方に、本市の特産品などを返礼品として贈呈している。返礼品については、行田の特産品をPRする意味から市内各事業者に募集を行い、足袋やゼリーフライ、果物など３２種類取り揃えている。また、寄附額を大幅に伸ばしている市町村においては、海産物やブランド肉牛など、全国的に有名な特産品をそろえているようである。本市においてもふるさと納税制度を活用する余地がさらにあると考えており、現在企画政策課において魅力的な特産品の発掘を進めているところである。 ・また、ふるさと納税のクレジットカード決済が可能になると、利便性が向上し寄附額が伸びる傾向にある。本市においても６月からクレジットカードの決済が可能となったため、寄附金額が伸びていくものと考えている。 ・このような意見があったことは担当課に伝え、ふるさと納税を促進するような環境整備を行ってまいりたい。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見はあるか。 ・次に議事の（２）「その他」について、事務局から何かあるか。
<p>事務局 議長</p>	<p>（資料４及び資料５により説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局より説明があったが、内容について意見や質問があれば発言いただきたい。
<p>議長</p>	<p style="text-align: center;">＜特になし＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって本日の議事すべてを終了とし、これをもって議長の職を解かせていただく。

司 会

・本日委員の皆様より頂いたご意見を活かし、今後の行財政改革に取り組んでまいりたい。以上をもって、本日の行政改革推進委員会を閉会する。

< 閉会 >